

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	楽器レッスン4	
科目基礎情報							
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	ヴォーカリストコース			開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	選択			時間数	30時間
単位数	1単位	授業形態	実習				
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。						
担当教員情報							
担当教員	二村			実務経験の有無・職種	有・音楽教室ピアノ講師		
学習目的							
音楽活動の幅を広げるために、基礎的なピアノの演奏を学ぶ。楽曲を制作するには、基本的なスケールやコード感を理解している事が必要である。そして合理的でスムーズな音楽制作に鍵盤は必要不可欠なツールとなっている。この科目では基礎的なピアノの奏法を学ぶ事によって、楽曲制作に必要なスケールやコード感を鍵盤を通して体得し、スムーズな音楽制作に役立てるようにする。さらには、音楽家としての表現の幅を広げるために、弾き語りでピアノ演奏ができることを目的とする。							
到達目標							
本科目はグレード対応科目となっており、2年次後期はグレード16～20に準拠して授業が進行する。実際の演奏を想定した技術の習得、コード進行の技術の向上と想像力の習得、演奏者としての独創力と上級の奏法の理解と習得、演奏者としてのさらなる技術向上を目指した能力の習得を到達目標とする。コードネームに対してオリジナルのボイシングを作成することが出来る。ソロ・ピアノスタイルで曲のイントロやエンディングを弾くことが出来る。最終的にはオリジナル曲を3曲以上ピアノ演奏が出来るようになることを目標としている。							
教育方法等							
授業概要	基本的にはグループレッスン形式で進行するが、学生の個々の習得具合によって個人レッスンも取り入れる。ピアノ演奏を習得する事によって、鍵盤で弾いたコードに対してどのようなメロディーが合うのか、または、メロディーに対してどのようなコードが合うのかを理解し、音楽制作に発展させる。さらには音楽制作だけでなく、自身が表現者となり、ピアノ弾き語りができるようになる事を目指す。						
注意点	各自のピアノの音に集中するためヘッドホンを使用する。楽器への対応のためにヘッドフォンジャックから標準ジャックへの変換プラグを各自用意すること。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度には厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。音楽業界の動きや最先端プレイヤー等について概説するので、自分でも情報を収集し、演奏技術の向上に努める事。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	30%	試験と課題を総合的に評価する				
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	実技	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	授業内発表	30%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する				
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	前期の復習			グレード11～15対応。右手と左手のリズムをバラバラにしたコンピングが弾ける。			
2回	ボイシング(1)			グレード16対応。コードネームに対してオリジナルのボイシングを作成する事ができる。			
3回	ボイシング(2)			グレード16対応。コードネームに対してオリジナルのボイシングを作成する事ができる。			
4回	独自のコード進行(1)			グレード17対応。これまで学習したコードを組み合わせで独自のコード進行で8小節以上弾ける。			
5回	独自のコード進行(2)			グレード17対応。これまで学習したコードを組み合わせで独自のコード進行で8小節以上弾ける。			
6回	ソロ・ピアノスタイル(1)			グレード18対応。ソロ・ピアノスタイルで曲のイントロやエンディングを弾ける。			
7回	ソロ・ピアノスタイル(2)			グレード18対応。ソロ・ピアノスタイルで曲のイントロやエンディングを弾ける。			
8回	ソロ・ピアノスタイル(3)			グレード18対応。ソロ・ピアノスタイルで曲のイントロやエンディングを弾ける。			
9回	アンサンブル(1)			グレード19対応。リードシートを読解しながら、アンサンブルに混ざってエレビを弾ける。			
10回	アンサンブル(2)			グレード19対応。リードシートを読解しながら、アンサンブルに混ざってエレビを弾ける。			
11回	アンサンブル(3)			グレード19対応。リードシートを読解しながら、アンサンブルに混ざってエレビを弾ける。			
12回	オリジナル演奏(1)			グレード20対応。オリジナル曲を3曲以上ピアノで弾ける。			
13回	オリジナル演奏(2)			グレード20対応。オリジナル曲を3曲以上ピアノで弾ける。			
14回	オリジナル演奏(3)			グレード20対応。オリジナル曲を3曲以上ピアノで弾ける。			
15回	まとめ			全体のまとめ			

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	楽器レッスン 4	
科目基礎情報					
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	サウンドクリエイターコース	開設期	後期
対象年次	2 年次	科目区分	選択	時間数	30時間
単位数	1 単位	授業形態	実習		
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	杉本		実務経験の有無・職種	有・ミュージシャン	
学習目的					
楽曲を制作するには、基本的なスケールやコード感を理解している事が必要である。そして合理的でスムーズな音楽制作に鍵盤は必要不可欠なツールとなっている。この科目では基礎的なピアノの奏法を学ぶ事によって、楽曲制作に必要なスケールやコード感を鍵盤を通して体得し、スムーズな音楽制作に役立てるようにする。さらには、音楽家としての表現の幅を広げるために、弾き語りでピアノ演奏ができることを目的とする。					
到達目標					
本科目はグレード対応科目となっており、2年次後期はグレード16～20に準拠して授業が進行する。実際の演奏を想定した技術の習得、コード進行の技術の向上と想像力の習得、演奏者としての独創力と上級の奏法の理解と習得、演奏者としてのさらなる技術向上を目指した能力の習得を到達目標とする。コードネームに対してオリジナルのボイスンを作成することが出来る。ソロ・ピアノスタイルで曲のイントロやエンディングを弾くことが出来る。最終的にはオリジナル曲を3曲以上ピアノ演奏が出来るようになることを目標としている。					
教育方法等					
授業概要	基本的にはグループレッスン形式で進行するが、学生の個々の習得具合によって個人レッスンも取り入れる。ピアノ演奏を習得する事によって、鍵盤で弾いたコードに対してどのようなメロディーが合うのか、または、メロディーに対してどのようなコードが合うのかを理解し、音楽制作に発展させる。さらには音楽制作だけでなく、自身が表現者となり、ピアノ弾き語りができるようになる事を目指す。				
注意点	キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。一度弾けたからクリアではなく、弾けるようになったら何度でも練習し演奏技能の向上に努める事。譜面を読んでピアノが弾ける事を目的とするので他の楽器での演奏は認められない。ヘッドホンは必ず持参する事。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験	20%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	提出物	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 (口頭・実技)	30%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1 回	前期の復習		グレード11～15対応。右手と左手のリズムをバラバラにしたコンピングが弾ける。		
2 回	ボイスン(1)		グレード16対応。コードネームに対してオリジナルのボイスンを作成する事ができる。		
3 回	ボイスン(2)		グレード16対応。コードネームに対してオリジナルのボイスンを作成する事ができる。		
4 回	独自のコード進行(1)		グレード17対応。これまで学習したコードを組み合わせて独自のコード進行で8小節以上弾ける。		
5 回	独自のコード進行(2)		グレード17対応。これまで学習したコードを組み合わせて独自のコード進行で8小節以上弾ける。		
6 回	ソロ・ピアノスタイル(1)		グレード18対応。ソロ・ピアノスタイルで曲のイントロやエンディングを弾ける。		
7 回	ソロ・ピアノスタイル(2)		グレード18対応。ソロ・ピアノスタイルで曲のイントロやエンディングを弾ける。		
8 回	ソロ・ピアノスタイル(3)		グレード18対応。ソロ・ピアノスタイルで曲のイントロやエンディングを弾ける。		
9 回	アンサンブル(1)		グレード19対応。リードシートを読解しながら、アンサンブルに混ざってエレビを弾ける。		
10 回	アンサンブル(2)		グレード19対応。リードシートを読解しながら、アンサンブルに混ざってエレビを弾ける。		
11 回	アンサンブル(3)		グレード19対応。リードシートを読解しながら、アンサンブルに混ざってエレビを弾ける。		
12 回	オリジナル演奏(1)		グレード20対応。オリジナル曲を3曲以上ピアノで弾ける。		
13 回	オリジナル演奏(2)		グレード20対応。オリジナル曲を3曲以上ピアノで弾ける。		
14 回	オリジナル演奏(3)		グレード20対応。オリジナル曲を3曲以上ピアノで弾ける。		
15 回	まとめ		全体のまとめ		

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	楽器 レッスン 4	
科目基礎情報							
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	プレイヤーコース			開設期	後期
対象年次	2 年次	科目区分	選択			時間数	30時間
単位数	1 単位	授業形態	実習				
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。						
担当教員情報							
担当教員	二村			実務経験の有無・職種	有・音楽教室ピアノ講師		
学習目的							
音楽活動の幅を広げるために、基礎的なピアノの演奏を学ぶ。楽曲を制作するには、基本的なスケールやコード感を理解している事が必要である。そして合理的でスムーズな音楽制作に鍵盤は必要不可欠なツールとなっている。この科目では基礎的なピアノの奏法を学ぶ事によって、楽曲制作に必要なスケールやコード感を鍵盤を通して体得し、スムーズな音楽制作に役立てるようにする。さらには、音楽家としての表現の幅を広げるために、弾き語りでピアノ演奏ができることを目的とする。							
到達目標							
本科目はグレード対応科目となっており、2年次後期はグレード16～20に準拠して授業が進行する。実際の演奏を想定した技術の習得、コード進行の技術の向上と想像力の習得、演奏者としての独創力と上級の奏法の理解と習得、演奏者としてのさらなる技術向上を目指した能力の習得を到達目標とする。コードネームに対してオリジナルのボイスンを作成することが出来る。ソロ・ピアノスタイルで曲のイントロやエンディングを弾くことが出来る。最終的にはオリジナル曲を3曲以上ピアノ演奏が出来るようになることを目標としている。							
教育方法等							
授業概要	基本的にはグループレッスン形式で進行するが、学生の個々の習得具合によって個人レッスンも取り入れる。ピアノ演奏を習得する事によって、鍵盤で弾いたコードに対してどのようなメロディーが合うのか、または、オリジナルのメロディーに対してどのようなコードが合うのかを理解し、音楽制作に発展させる。さらには音楽制作だけでなく、自身が表現者となり、ピアノ弾き語りができるようになる事を目指す。						
注意点	各自のピアノの音に集中するためヘッドホンを使用する。楽器への対応のためにヘッドフォンジャックから標準ジャックへの変換プラグを各自用意すること。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度には厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。音楽業界の動きや最先端プレイヤー等について概説するので、自分でも情報を収集し、演奏技術の向上に努める事。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	30%	試験と課題を総合的に評価する				
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	実技	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	授業内発表	30%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する				
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1 回	前期の復習			グレード11～15対応。右手と左手のリズムをバラバラにしたコンビングが弾ける。			
2 回	ボイスン(1)			グレード16 対応。コードネームに対してオリジナルのボイスンを作成する事ができる。			
3 回	ボイスン(2)			グレード16 対応。コードネームに対してオリジナルのボイスンを作成する事ができる。			
4 回	独自のコード進行(1)			グレード17 対応。これまで学習したコードを組み合わせる独自のコード進行で8小節以上弾ける。			
5 回	独自のコード進行(2)			グレード17 対応。これまで学習したコードを組み合わせる独自のコード進行で8小節以上弾ける。			
6 回	ソロ・ピアノスタイル(1)			グレード18対応。ソロ・ピアノスタイルで曲のイントロやエンディングを弾ける。			
7 回	ソロ・ピアノスタイル(2)			グレード18対応。ソロ・ピアノスタイルで曲のイントロやエンディングを弾ける。			
8 回	ソロ・ピアノスタイル(3)			グレード18対応。ソロ・ピアノスタイルで曲のイントロやエンディングを弾ける。			
9 回	アンサンブル(1)			グレード19対応。リードシートを読解しながら、アンサンブルに混ざってエレビを弾ける。			
10 回	アンサンブル(2)			グレード19対応。リードシートを読解しながら、アンサンブルに混ざってエレビを弾ける。			
11 回	アンサンブル(3)			グレード19対応。リードシートを読解しながら、アンサンブルに混ざってエレビを弾ける。			
12 回	オリジナル演奏(1)			グレード20対応。オリジナル曲を3曲以上ピアノで弾ける。			
13 回	オリジナル演奏(2)			グレード20対応。オリジナル曲を3曲以上ピアノで弾ける。			
14 回	オリジナル演奏(3)			グレード20対応。オリジナル曲を3曲以上ピアノで弾ける。			
15 回	まとめ			全体のまとめ			